

(様式2) 令和元年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校(園)名
30	川崎市立宮崎中学校
校長名	田中 真理子

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
・理想を高め、自主自律ある人間の育成 ・勤労を尊び、実践力ある人間の育成 ・豊かな情操を身につけた人間の育成 ・互いに人権を尊重し合える民主的人間の育成 ・国際的な視野に立ち互いの文化を尊重できる人間の育成	(1)自ら学び、考える生徒の育成 (2)開かれた学校づくり (3)教職員の資質向上	1. 授業力の向上 2. 心を育てる教育の実践 3. 安全危機管理意識の向上

評価項目	具体的な取組	実現状況及び課題	具体的な改善策
1 わかる授業 生徒が達成感を持てる 授業展開の実践	生徒に「確かな学力」を身につけさせるため、単元のねらいを明確に伝え、「わかる・できる」達成感を味あわせる	○授業方法の工夫と改善への継続的な取り組み ○教科会、研究授業、情報交換等の励行 ○特別活動・総合の授業について全職員での取り組み ○学習環境への意識の向上 ○板書や発問を意図的に行い生徒の学習活動を支援の工夫	<p>⇒①授業力の向上 ～ 言語環境の整備 自分の考えを正しい言葉で伝える ～</p> <p>⇒②心を育てる教育の実践 ～ 自他への思いやりの心を育てる ～</p> <p>⇒③安全危機管理意識の向上</p>
2 学習環境の整備	授業者・担任として、教室の美化や掲示物等気を配り、「学習の雰囲気」作りを行う。家庭学習の習慣の呼びかけ(学習の定着)	○新学習指導要領を意識した授業改善と研修 ○学習効果を高める環境づくり(教材・教具・掲示物) ●評価についての研修を深める必要性	
3 各教科で身につける 国語力と言語環境の整備	実生活の中で生かせる言語力の向上 「話す」「聞く」「書く」の学習場面を意図的に作り指導する 言語環境の整備に努める 正しい言葉、美しい言葉の使用	○生徒への言葉かけ・話し方の研究 ●正しい言葉づかいの指導 ○「授業の基本的ルール・発言のルール、マナー」の指導	
4 授業評価による授業改善	生徒一人一人をよく観察し、授業への取り組み、理解の状況を把握し、次の授業へ活かすように努める	○教員同士の的確な情報交換の実践 ○PDCAのサイクルで評価を高める ●評価・評定についての説明責任	
5 道徳授業を核とした 心の教育の推進	話し合い活動を充実させ、自他への思いやり、集団の一員としての自覚を育てる 感謝の気持ちを大切に作る雰囲気作り	●共生・共育と運動させた全職員での取り組み ●道徳の授業を通して様々な場面で心を育てる教育の実践 ○人に対する心配りへの気づき・「聴く」ことの指導	
6 挨拶や身だしなみ等 基本的生活習慣の確立	日常生活において、挨拶やマナーを大切に、コミュニケーション能力の向上、人格形成(大人になる、人として)においても重要であることを伝え育てる 教師自身の身だしなみに気を配る	○あいさつ、ありがとうの言葉かけ ○教員同士の指導事項の確認 ○時間を守る意識の向上 ○服装や頭髪への気遣い	
7 自己肯定感の育成と他者理解の心の育成	生徒・教師・保護者・地域の連携を大切に、人権感覚(他者理解)を育て、いじめや生徒指導の早期発見・対応・解決に努める チームとしての対応を心がける 体験・校外学習の取り組み	○教科学習・部活動等を通して「賞賛と激励」の励行 ○アンケートや教育相談の実施 ○「人の気持ち・立場」を考える場面の設定(福祉体験・職場体験・校外学習)	
8 健康・安全教育の推進 と危機管理意識の向上	常に安心安全な学校・学級作りを気を配り、点検整備を進んで行う 生徒の危険回避能力を育てる 「命の尊さ」を継続的に指導する	○生徒の事故、けが等への対応は迅速で、的確な対応 ○学校生活のあらゆる場面での安全配慮への意識の向上と実践	
9 家庭地域との連携と 情報発信と収集	学校や学級の考え方や、学校行事・生徒の活躍を保護者や地域に積極的に広報し、理解を図る 保護者や地域とのふれあいを活かす	○PTA行事、宮中フェスタ、こども文化センター、地域の祭礼等への多数の職員の参加 ○HP、学校通信、学年通信、学級通信、PTA広報誌等積極的に発行	
10 その他(教員の資質向上・特別支援教育の取組み)	教員としての資質向上をめざし、研修、教材開発等に積極的に取り組む 特別支援教育への意識を高める 教員同士の連携・情報交換を密にする。	○研修会、授業研究会への取り組み ○教員同士の情報交換、支援体制 ○支援教育の理解と実践 ●不登校生徒への支援	

学校関係者の評価	今年度のまとめ・次年度へ向けての取組
伝統校でありながら、生徒会を中心に全校生徒で意識改革をしようと考え、新たな具体策を試みるところが、とても感心した。中学校生活の3年間を充実させてほしい。登下校については、あいさつもできているが、安全面に気を付けてほしい。地域としても、協力し、見守っていきたい。	伝統校としての誇りを持ち、大規模校であるが学校全体が落ち着いた日々を送ることができた。今後も生徒一人一人を大切し、徹底的に寄り添いながら①授業力の向上②心を育てる教育の実践③安心安全な学校づくりを3本柱に、教職員一丸となって取り組んでいく。日々の活動を振り返り、改善を意識し、よりよい学校運営を行う。自然災害に備え、防災意識を高め「生きる力」を培う。特別な支援を要する生徒や不登校生徒への支援については、多様性をもって、さらに支援する。